

そうきぎよとう

桑基魚塘 クワとサカナのものがたり

—中国伝統の自然循環農法・その保存の試み—



上映時間 28分

一般社団法人 中日文化研究所 研究費助成映像
研究・映像演出 重森 貝崙

桑基魚塘とは

中国・広東省の珠江デルタでは明代の昔から、池を掘り、堤を築き、その堤に桑の木を植え(桑基)、その桑の葉で蚕を育て、池(魚塘)では桑の葉や草、死んだ蚕やさまざまな昆虫類、さらには動・植物性プランクトン等を餌に3種類以上の魚を養殖してきました。即ち、養蚕と魚の養殖が同時並行的に行われてきたのです。

桑基魚塘は、自然生態に基づいた循環農法システムと、装置の総称です。魚を養殖している池では、魚の糞が池の底に溜まり、これがバクテリアによって分解され養分に富んだ泥となり、その泥を年一回桑の木の根元にかけてやると、木は勢いよく育ち、葉を茂らせます。元気の良い桑の木々は気温や水温を安定させ、大気を浄化する効果があります。一方魚塘では良好な水質が保全され、魚をはじめとする生きものたちが生きて行く上で、理想的な環境が作り出されてきたのです。

しかし近年、化学繊維の発明・普及により生糸・絹織物の需要は激減、桑基魚塘という伝統の自然循環農法も衰退し、2000年代にはほぼ消滅という危機にさらされます。そこで、この優れたシステムを保存するために創設されたのが「桑基魚塘博物館」。博物館館内では、桑基魚塘史を解説する写真、生きた蚕を飼いその繭からどのようにして生糸を紡ぎ出すかという実演、館外に設けられた養魚池と、桑の木の並びなどをくまなく捉えて行きます。また、蚕と並ぶもう一方の主演は淡水魚ですが、ダイナミックな淡水魚の水揚げ風景や、魚料理が大好きな広州の家庭にもカメラは向けられ、数々の名菜を披露しています。



撮影協力：南国絲都絲綢博物館 吳英海 館長

製作協力：岩波映像株式会社

【スタッフ】

撮影・編集：廣瀬充男

整音・選曲：吉田茂一

CG：藤原久子

ナレーション：藤村紀子

翻訳・通訳：梶夏子

■個人貸出・館内上映可能

価格：10,000円 (+消費税)

■個人貸出・館内上映・団体貸出・館外上映可能

価格：20,000円 (+消費税)

配給・販売 岩波映像株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川2-1-13-205

TEL:03-5689-2601 FAX:03-5689-2685

E-mail:iwanami@iw-eizo.co.jp http://iw-eizo.co.jp